

ヨーロッパで発掘された恐るべき才能。
そのスケールの大きさと豊かな音楽性は限りを知らない。

PLAMENA MANGOVA Piano Recital プラメナ・マンゴーヴァ ピアノ・リサイタル



「力と情感の両方で、圧倒的な感動を呼ぶに違いない。」
高樹のぶ子(作家)

2009年

9/9(水) 19:00 紀尾井ホール

Wednesday, September 9, 2009 at 7 p.m. Kioi Hall

全指定席 ¥6,000 プラチナ券 ¥11,000

シューマン: フモレスケ op.20

Schumann: Humoreske op.20

スクリャーピン: ピアノ・ソナタ第9番 op.68「黒ミサ」

Scriabin: Piano Sonata n.9 op.68

練習曲 嬰ハ短調 op.2-1 / 嬰ヘ短調 op.8-2
Etude C-sharp minor op.2 n.1 / F-sharp minor op.8 n.2
変ロ短調 op.8-11 / ト長調 op.65-3
B-flat minor op.8 n.11 / G major op.65 n.3
嬰ヘ長調 op.42-3 / 嬰ニ短調 op.8-12
F-sharp major op.42 n.3 / D-sharp minor op.8 n.12

ショパン: 夜想曲 口長調 op.62-1

Chopin: Nocturne in B major op.62 n.1

バラード第1番 ト短調 op.23

Ballade n.1 in G minor op.23

ラヴェル: 亡き王女のためのパヴァーヌ

Ravel: Pavane pour une infante defunte

「鏡」より 道化師の朝の歌

Alborada del Grazioso (from "Miroirs")

ラ・ヴァルス

La Valse



2008年のナント音楽祭で、初めてプラメナ・マンゴヴァさんのピアノを聴いたとき、この人は「広く聴衆に感動を与えるピアニストになるだろう、とりわけ日本人に」と直感した。

感心と感動は、微妙に違う。感心はアタマがまず反応するけれど、感動はカラダに直接訴えてくる。

ナントの音楽祭ラ・フォル・ジュルネは、音楽総監督ルネ・マルタンがアーティストを選び、新人を世界に送り出すことでも知られているけれど、彼が選ぶ基準が、マンゴヴァさんを聴くことで良く理解できた。テクニックはもちろん必要だが、音の一つ一つが力強く、聴く者の心と体に飛び込んでくる、いえ、突き刺さってくる。そして、参りました、という気持ちにさせる。つまりキーワードは、感動なのだ。直接話をするのが出来たとき、彼女の出身がブルガリアだと教えられ、ここでもストンと納得できた。日本人の心根に訴える情念は、間違いなく東欧のDNAからきている。抑制されたパッションも、民族の血の熱さまでは隠せない。

その後5月のラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンで日本デビューとなったが、今年よりリサイタルが行われると聞いて、嬉しくて仕方ない。

力と情感の両方で、圧倒的な感動を呼ぶに違はなく、ナントで出会ったアーティストが、着々と日本人の心を掴んでいく歩みを、最初からのファンとして、見守り応援し続けて行きたいと思う。

高樹のぶ子 (作家)

たかぎ
高樹のぶ子 (作家)

1946年、山口県防府市生まれ。山口県立防府高等学校、東京女子大学短期大学部教育学科卒業後、出版社勤務を経て、1980年「その細き道」を「文学界」に発表、創作活動を始める。1984年「光抱く友よ」で芥川賞、1999年「透光の樹」で谷崎潤一郎賞を受賞し、「透光の樹」は、2004年映画化もされている。他、多数執筆。2001年より芥川賞選考委員、2005年より九州大学アジア総合政策センター特任教授(アジア現代文化研究部門)を務める。

クリアなタッチが、皆の心に染み渡る

大型連休の人気音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」では、毎年新鋭アーティストがブレイクする。2008年は、それがマンゴヴァだった。2007年エリーザベト・コンクールで第2位を獲得し、コンサート・ヘボウやモーツァルトウム等の著名ホールで絶賛を浴びている。ショスタコーヴィチやベートーヴェン等のCDで、一部の注目を集めてもいた。されど百聞は一見に如かず、外見(失礼…)からは思いもよらない繊細な感性と感興に充ちた音楽で、幅広い聴衆の心を一躍捉えたのだ。

彼女の美点はまずクリアなタッチにある。“打鍵そのものが魅力的”。こんなピアニストは滅多にない。1音1音に芯があり、まろやかさと潤いがあり、聴く者の心に染み渡る。そして強靱な響きを楽々と奏で、難儀なフレーズも軽々と弾く。例えば「熱情」ソナタの激烈な第3楽章とて勢いに走らず、全音符を明確に表出する。だが音楽の流れは途絶えない。それゆえ楽曲の全貌が十全に伝わる。今回のリサイタルでは、スクリャーピンやラヴェルといった、クリアな響きにより威力を発揮する演目を軸にプログラムが組まれている。これを見て想像する。「亡き王女のためのパヴァーヌ」での絶美のタッチや、「ラ・ヴァルス」での無数の音の奔流を……。百聞は一見に如かず。ぜひ体験したいし、して欲しい。

今年フランス・ナントのラ・フォル・ジュルネに行き、15時間かけて着いたその夜、マンゴヴァを聴いた。彼女のピアノを耳にした瞬間、長旅の疲れが心地よさに変わった。次は9月に日本で会える。

柴田克彦 (音楽ライター)

プラメナ・マンゴヴァ (ピアノ) / PLAMENA MANGOVA, Piano



1980年にブルガリアで生まれる。非常に早い時期から非凡な才能を発揮し、ソフィア音楽アカデミーにてマリナ・コパチンスカヤに師事。数々の国際コンクールでの入賞を経て、2007年エリーザベト王妃国際コンクールで第2位に入賞。これを機に活発なコンサート活動を始める。

以来、シンフォニア・ヴァルソヴィア、UBSヴェルビエ・フェスティバル・オーケストラ、ベルギー国立管弦楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、ブルガリア放送交響楽団などのオーケストラ、また指揮者ではエマニュエル・クリヴィヌ、オーギュスタン・デュメイ、ペーテル・チャバなどと共演している。室内楽奏者としても高く評価されており、マリア・ジョアン・ピリス、オーギュスタン・デュメイ、イザイ弦楽四重奏団などと共演している。

じっくり、心を驚かす—— ゆっくり、常識をくつがえす。

最新録音

●ベートーヴェン:ソナタ
『熱情』、六つのパガテル 他
MFUG530/¥2,940 (税込)
日本語解説付



●ショスタコーヴィチ:ソナタ第2番、
24の前奏曲
《『レコード芸術』特選》
MFUG517/¥2,940 (税込) 日本語解説付



●ショスタコーヴィチ:ピアノ三重奏曲、
ブロークの詩によるロマンス
ナターリヤ・プリシチェベンコ (ヴァイオリン)
ゼバスティアン・クリンガー (チェロ)
タチャーナ・メリニチェンコ (ソプラノ)
MFUG525/¥2,940 (税込) 日本語解説付



お問い合わせは 株式会社 マーキュリー
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-12-6
TEL:03-5276-6803 info@mercury-coo.com

FUGA LIBERA
[フーガ・リベラ]

※タワーレコード、HMV、山野楽器、新星堂など全国のCDショップでお求めいただけます。
店頭がない場合はお取り寄せ頂くか、弊社までご連絡下さい。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご利用いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

検索 <http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

- 電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:319-824)
- e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
- CNプレイガイド 0570-08-9990
- ローソンチケット 0570-000-407
- 紀尾井ホールチケットセンター (03)3237-0061

カジモト・イープラスの便利な
ケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。



●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%
このチラシは再生紙を使用しています
梶本音楽事務所はチーム・マイナス6%に参加しています。